

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	事業系一般廃棄物リサイクル啓発事業	所管	環境クリーン部 リサイクルふれあい館 TEL 2994-5374
-----	-------------------	----	-------------------------------------

事業の目的 (何の為に 行うか)	事業系一般廃棄物の適正な分別、減量化、資源化について、事業者への意識啓発を行う。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	事業者、市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	339,058	人

活動の内容	(何を したか)	事業活動から発生するごみの減量・資源化及び適正処理について、事業者の意識を促すための情報提供							
活動実績	項目名	情報紙発行回数	4	項目名	他事業参加による 情報提供	1	項目名		単位
			----- 単位 回			----- 単位 回			----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	0	0	1,973	5.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	情報提供回数	エコロ通信発行回数+他事業参加による 情報提供	5	5	100.0
			----- 単位 回	----- 単位 回	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了							
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050500	TEL	2994-5374
事業コード	事業系一般廃棄物リサイクル啓発事業		環境クリーン部 リサイクルふれあい館			
050504	開始年度 平成 13 年度 → 終了年度 平成 年度					
グループ		リサイクルふれあい館				

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	一般廃棄物処理基本計画、環境基本計画			所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例
	関連・類似事業	一般廃棄物処理業等の許可、指導、監督に関する事務(廃棄物対策課)			
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル
				中柱	1 ごみ減量とリサイクルの推進
				小柱	(2)リサイクルの推進
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	1111 市民の知りたい情報の提供			コード
	事業開始の背景				
	ごみ減量・リサイクルの推進にあたり、一般家庭だけでなく事業系一般廃棄物の排出者である事業者に対する意識啓発の必要性が高まった。				

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)					
	事業系一般廃棄物の適正な分別、減量化、資源化について、事業者への意識啓発を行う。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方		
	事業者、市民			事業者、市民		
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	利用数
			平成 19 年度	339,058	人	単位
			平成 18 年度	337,883	人	平成 19 年度
			平成 19 年度	339,058	人	
	事業の具体的な内容及び実施方法					
	事業活動から発生するごみの減量・資源化及び適正処理について、事業者の意識を促すための情報提供					

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点					
	市主催の講習会等、事業者の集まりを捉えて、事業者への啓発チラシの配布を行ったり、情報紙に啓発記事を掲載した。					

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		0	0	0	
	決算(見込み含む)		0	0		
		(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 0.00 人 )	( 人 ) ( 0.00 人 )		
	正規職員人件費		0.21 人 1,932	0.21 人 1,973	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	公債費					
	事業費合計		1,932	1,973		
	財源内訳	一般財源		1,932	1,973	0
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他						
	市民一人当たり(単位:円)		5.7	5.8		
	利用数一単位あたり(単位:円)		5.7	5.8		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	情報紙発行回数	エコロ通信発行回数	回	4	4	
		他事業参加による情報提供	他事業参加による情報提供	回	1	1	
	成果分析	情報提供回数	エコロ通信発行回数+他事業参加による情報提供	回	目標値 4	5	
			%	実績 5	5		実績値の拡大を図る1
			%	達成率 125.0	100.0		実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	見直しの必要性
				<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		見直しの必要性
				<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	他事業との更なる連携を図り、さまざまな場を通じて啓発に努める。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	事業系一般廃棄物の減量化及び資源化	事業活動に伴う一般廃棄物の処理手数料改定のため、検討を行う	平成20年度末
		事業系一般廃棄物の減量化及び資源化	事業活動に伴う一般廃棄物の排出量を抑制する要綱等の検討を行う	平成20年度末
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	事業系一般廃棄物の排出量を抑制するためには、事業者自らの取り組みが重要である。ごみの減量化や資源化を更に促進してもらうためには、市が受け入れる廃棄物処理手数料の見直しや事業者が積極的に廃棄物の減量化に取り組む制度を定めていく必要がある。今後も事業者の指導・監督を継続するとともに、エコ企業ネットとごみさわ等事業者団体との連携を強化し、更なる取り組みを推進する。		
	評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	リサイクルふれあい館長 本澤 勉

⑧二次評価	一次評価を受けて	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了				
		予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
		評価理由	評価日				
		次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
		優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業				
		見込まれる貢献度	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業				
		評価理由	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				
		評価日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	321	322	
	施策の体系	3-2資源循環の促進	3-2-1ごみの発生・排出の抑制				
		3-2資源循環の促進	3-2-2リユース・リサイクルの推進				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
	基本目標						
	主要課題						
	施策の方向						